

---

# ハンターの歌姫

能天気

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ハンターの歌姫

### 【Nコード】

N2866Z

### 【作者名】

能天気

### 【あらすじ】

女性主人公で歌にハンターに恋愛に振り回される話です。

初めての連載小説なので最新は遅いです。

流血や大人の表現があるかも知れないので15禁にしております。

## 始まりの歌姫

ガラクタだらけのすべてを  
私は愛している  
ここが私の逃げ場だから、  
誰かが否定しても構わない  
私は愛している  
見棄てられたこの場を

「・・・」

ゴミや何かの残骸が地面を埋めつくす、捨てる事の全てを受け入れたこの場所で1人の少女は歌っていた。

「また、こんな所で歌ってるのか？キサラ」

ゴミが積み上がった丘にいる少女に少年は声をかけた。

「気配を消して声るをかけないでよクロロ」

「お前が気づかないのが悪い」

ヒューと音をたてて風が吹き抜ける。

「何かようつ？」

「・・・盗賊、幻影旅団を作った。シンボルは蜘蛛で俺が頭、他の

奴等が足を表す。」

「それで?」

(バサツ)

ゴミの丘から飛び降りるとクロロをじっと見つめる。

「お前には幻影旅団の良心になってもらう。」

「ハア?」

クロロが言った言葉が理解できず顔に掛かった髪をそのままにキサラは口を開けて啞然としていた。

「お前だけが旅団を止められる。」

「意味が分からない!?!? どうして私が旅団に含まれていないのよ!?!」

キサラはクロロに詰め寄り襟元を掴む。

「よりもよって私が良心ですって馬鹿にしているの!?!」

「違う!」

キサラの手を掴みしたに下ろす

「お前には盗賊は向いてない」

「そんな訳「お前は！！優しすぎる…、強くなくては生き残れないこの場所で弱者に死した者に歌っていたのを知っている。だからこそキサラには良心になって欲しい、これから俺達は残虐非道を尽くす自分達は気づかず何の躊躇いもなくだからお前には人の一線を越える時に止め欲しい」「」

うつむくキサラに風は容赦なく吹き付ける。

「まるでクロロじゃあないみたいね。」

「俺もそう思う。」

クロロは少し笑って言った。

「これはみんなの総意？」

「ああ、そうだ。初めてキサラ的能力を知ったとき皆の同じ事を思ってたじゃないか？多分」

キサラはふうと深い息をしてクロロに背を向けた。

「わかった、仕方ないから皆の代わりに良心になってあげる。」

キサラは顔を上げて透き通った青空を見上げた。



始まりの歌姫（後書き）

読んでくれてありがとう

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2866z/>

---

ハンターの歌姫

2011年12月10日02時49分発行